

生活や仕事に寄り添う



の空間デザイン

-地域の杉を活用した空間提案 学生コンテスト2022-

新型コロナウイルス蔓延に起因したウッドショックによる木材不足、木材価格の高騰など、建設業界は厳しい状況が続いています。その一方で、豊富に存在する国内の森林資源に目を向けると、国産木材の活用を本格的に進める時期に差し掛かっています。また、コロナ禍によって私たちの生活環境においてもテレワークの浸透やライフスタイルの変化がありました。これにより、住空間・労働環境そのものも変化していく可能性があります。そこで、将来的な需要拡大が期待される愛知県産の杉材を使用して新しい働き方、使い方も含めた「木」のもつ魅力を活かした空間のデザイン提案を求めます。プレゼンテーションシートによる一次審査での入選作品に対して材料を無償提供し、制作された作品を愛知県内の施設内に一定期間実際に展示・供用し、入賞作品を決定します。創作意欲に溢れた作品に出会えることを期待します(審査員一同)。

主催:木造都市研究会「木愛の会」 **協賛:**総合資格学院 **後援:**愛知県
協力:あいちの木で家をつくる会

審査員

坂口大史(日本福祉大学)(審査員長)、伊藤真理子(株式会社サンゲツ)、清水秀丸(椋山女学園大学)、太幡英亮(名古屋大学)、福島和彦(名古屋大学)、古川忠稔(中部大学)、益尾考祐(愛知工業大学)、溝口周子(名古屋造形大学)、武藤厚(名城大学)

🌿 テーマ

自宅でのテレワークや仕事場でのオフィスワークに使える木の魅力を活かした空間

🌿 設置施設

サンゲツ名古屋ショールーム（名古屋市西区幅下1-4-1）

🌿 製作条件

住宅もしくは仕事場を対象に作者が想定して場所において、安全かつ快適に使用できるデザインとする。
住宅や仕事場の詳細条件・設定は作者自身で決めて良い。また、提供材以外の使用は妨げないが、愛知県産木材を主たる材料とすること。

🌿 応募資格

東海地方で建築やインテリアを学ぶ大学生・大学院生を主体としたグループまたは個人

🌿 作品のサイズ

平面約0.5坪、高さ約2,100mm以下を目安として、
左記リストの木材を使って制作できる大きさとする。
二次審査に進んだチームには、実際の制作と展示のため、木材リストにある木材が支給される。
木材リスト以外の木材も自費にて使用可能とする。

木材リスト
(樹種:杉 仕上げ:モルダー)

寸法(mm)		
1,900	40	30
900	90	90
1,900	90	90
3,000	90	90
900	105	30
1,900	105	30
3,000	105	30
1,900	150	30
1,900	150	20
1,900	150	15

🌿 応募条件

他のコンペ等で入選していないオリジナルの作品であること。ただし、大学の演習等で制作した作品については応募可能とする。

🌿 評価軸

機能性が高く実用的な提案、コンセプチュアルで斬新なアイデアに溢れた提案の双方を評価する。

🌿 スケジュール

事前説明会:令和4年9月27日(火) 10:00からサンゲツ名古屋ショールームにて

作品提出締切:令和4年11月25日(金) 必着

一次審査結果発表(入選作決定):令和4年12月18日(日) 「あいち木造ミーティング」にて

現地設置:令和5年2月の2週間を予定 (二次審査による表彰)

🌿 選考資料

各種図面やイメージパース、模型写真などをA3サイズ2ページ、PDFデータにまとめてメールにて提出する。
図面のスケールは各自で任意に決めて良い。

🌿 表彰

最優秀賞:1点(賞金5万円)、優秀賞:1点(賞金3万円)、入賞:数点(賞金1万円)

🌿 作品提出・問合せ先

木造都市研究会「木愛の会」事務局

Email :kiainokai@gmail.com

